

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【連携事業】

幹事市町	下野市	※事業主体が地域づくり団体等の場合のみ記載すること。
構成市町	下野市、上三川町、壬生町	
事業名	地域資源で繋ぐ1市2町連携プロジェクト事業	
事業主体の名称※		
代表者の名称※		
事業主体の所在※		
事業主体の概要	<p>・団体の目的:経済・文化及び医療など多くの面で密接に関係する下野市、上三川町及び壬生町(1市2町)が地域振興や定住促進を図るため、共通する行政課題等について意見や情報を交換し、一体となった課題解決策を検討及び実施することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成27年4月28日</p> <p>・構成員等:下野市、上三川町、壬生町 8名</p>	
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>栃木県南部に位置する下野市・上三川町・壬生町は、ともに平坦で災害が少なく暮らしやすい土地柄で、東京圏からのアクセス等交通利便性が高い地域であることや、医大病院や総合病院を有するなど、多くの類似点を有し、かねてより経済・文化・医療など、多くの面で密接な関係を持ってきた。</p> <p>また、これらの市町では、共にかんぴょうを特産品とし、全国一の生産地として栃木県の「食の街道」の一つ、「歴史とロマンのかんぴょう街道」でも連携している地域であり、各々が地域資源としてかんぴょうの振興を図っているところである。しかし、かんぴょうの需要低下や生産者の高齢化に伴う後継問題等、様々な要因によりかんぴょうの生産量は減少傾向にあり、更なる取組みが求められている。</p> <p>かんぴょうという資源を魅力的な特産品として振興するとともに、いかに文化を継承しつつ、地方創生、観光資源等へ結びつけるかが、将来に渡り特色ある地域として認知度を高め、地域を活性化していくために必要となっている。</p>	
事業目的	<p>・地域資源の魅力を発信するとともに、これらを見つけ出した来訪者、再訪者の増加に繋げる。</p> <p>・地域の特徴的な農産物の振興とともにこの地の特色を更にプロモーションし、1市2町への移住者増加に繋げる。</p> <p>・ふるさとの魅力や文化を継承し、将来に渡り特色ある資源を保全する。</p>	
事業概要	<p>①各市町のかんぴょうに係るイベントについて連携開催し、周遊企画としてスタンブラーを実施することにより、共通の地域資源であるかんぴょうのPRと地域周遊の促進を図り、魅力発見や再訪のきっかけづくりに繋げる。景品には地域特産品を活用することで、かんぴょうのみならず様々な地域資源の認知、魅力のPR、この地への愛着創出を図る。</p> <p>②市内小・中・義務教育学校で、かんぴょうを用いた伝統工芸「ふくべ細工」の体験活動を通し、ふるさとの魅力や文化、地域に根差し暮らす人々の思いや生き方等を知るとともに、郷土への誇りや愛着を醸成する。</p> <p>③しもつけかんぴょうまつり、地域農産物ブランド化推進支援、かんぴょうレシピ本の発行等により、かんぴょうの普及、振興を推進する。</p> <p>【令和5年度】【関係人口の分類I-d(参加・交流型)】</p> <p>○各市町イベントを繋ぐスタンブラーの実施(7、8月頃)</p> <p>・各市町の拠点とするイベント</p> <p>下野市:しもつけかんぴょうまつり(わがまち活用事業)</p> <p>上三川町:サンフラワー祭り(同時開催かんぴょう収穫まつり)</p> <p>壬生町:壬生ふるさとまつり</p> <p>・地域特産品による景品の送付</p> <p>・各種メディアへの広告掲載(紙、WEB媒体を活用LPR)</p> <p>○小・中・義務教育学校「ふくべ細工」体験活動</p> <p>○しもつけかんぴょうまつり、地域農産物ブランド化推進支援、かんぴょうレシピ本発行</p> <p>【令和6・7年度】</p> <p>前年度の企画をベースに、効果検証や参加者からの意見結果を踏まえ、企画内容をブラッシュアップして実施。</p>	
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>(下野市)基本目標② 東京圏からの新しいひとの流れをつくる</p> <p>【数値目標】○観光入込客数:R2 231万人→R6 271万人</p> <p>【KPI】○下野市観光協会ホームページアクセス数:R2 33万6千件→R6 36万6千件</p> <p>(上三川町)基本目標2 「魅力ある”かみのかわ”への新しい流れの創出</p> <p>【成果目標】○東京圏からの転入者数:H30 190人→R7 230人</p> <p>【KPI】○観光客入込数:H30 85,280人→R7 105,000人</p> <p>(壬生町)基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる</p> <p>【数値目標】○観光客入込数:H30 3,709,996人→R7 3,895,496人(5%増加)</p>	

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・事業の企画、実施 ・次年度の取組み改善 へ向けた効果検証	・事業の企画、実施 ・前年度検証に基づく取 組改善 ・次年度の取組み改善 へ向けた効果検証	・事業の企画、実施 ・前年度検証に基づく取 組改善 ・次年度の取組み改善 へ向けた効果検証		・事業の企画、実施 ・前年度検証に基づく取 組改善 ・次年度の取組み改善 へ向けた効果検証
事業費	3,606,600	3,606,600	3,606,600	10,819,800	1,898,600
市町支出金 (ソフト事業分)	3,606,600	3,606,600	3,606,600	10,819,800	1,898,600
うち県交付金	2,404,399	2,283,245	843,822	5,531,466	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	0
その他自主財源等	0	0	0	0	0

幹事市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課 政策推進グループ
担当者名	高橋 一巳
電話	0285-32-8886
FAX	0285-32-8606
E-mail	soougouseisaku@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地域資源で繋ぐ1市2町連携プロジェクト事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市町支出金	3,606,600	・スタンプラリー負担金 下野市 632,866円、上三川町 632,867円、壬生町 632,867円 ・下野市実施事業(しもつけかんぴょうまつり運営関係委託、ふくべ細工用かんぴょう、かんぴょうレシ ピ印刷、かんぴょう及び地域農産物ブランド化推進支援委託) 1,708,000円
計	3,606,600	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	360,000	360,000	240,000	0	・ふくべ細工用かんぴょう
印刷製本費	429,000	429,000	286,000	0	・かんぴょうレシピ本印刷費
委託料	2,817,600	2,817,600	1,878,399	0	・スタンプラリー委託 1,898,600円 ・しもつけかんぴょうまつり運営委託 419,000円 ・しもつけかんぴょうまつりMC委託 32,500円 ・かんぴょう及び地域農産物ブランド化推進支援業務委託 467,500円
				0	
				0	
計	3,606,600	3,606,600	2,404,399	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(連携事業支出整理票)

単位事業名	地域資源で繋ぐ1市2町連携プロジェクト事業	対象年度	5	年度
-------	-----------------------	------	---	----

科目	予算額 (精算額)	下野市支出額		自主財源等	上三川町支出額		自主財源等	壬生町支出額		自主財源等			自主財源等
			県交付金			県交付金			県交付金			県交付金	
消耗品費	360,000	360,000	240,000	0	0	0	0	0	0	0			
印刷製本費	429,000	429,000	286,000	0	0	0	0	0	0	0			
委託料	2,817,600	1,551,866	1,034,577	0	632,867	421,911	0	632,867	421,911	0			
計	3,606,600	2,340,866	1,560,577	0	632,867	421,911	0	632,867	421,911	0	0	0	0

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。